ニュース・ダイジェストNAHA

頭防犯カメラ設置協定書調印式」が若松通り会、琉石通 を目的に|括交付金を利用した設置では県内初となる「街 ながると思います」と期待を述べました。 全な場所になれば、 たっており、 り会、那覇警察署、 若松通り会の新垣栄一郎会長は「沖縄は観光立県をう 12月20日 (木)、松山地域の環境浄化と犯罪抑止の強化 その県都である那覇市の繁華街が安心で安 那覇市の四者によって行われました。 沖縄県全体のイメージアップにもつ

らなる安心・安全な まちづくりのために

~松山地域街頭防犯カメラ設置協定書調印式。

テルで行われ、

勝を果たした宮里美香選手の優勝祝賀会が那覇市内のホ

ル

その中で、翁長市長より宮里選手へ「那

覇市民栄誉賞」が授与されました。

宮里選手は

「市民栄誉賞ありがとうございます。

12 月 27 日 (木)、 昨年8月に米女子ゴ

沖縄から世界へはばたく

災害に強く、人と環境にやさしい造りになっています。

育委員会も統合され利便性の高い総合庁舎となり、さらに、

~宮里美香選手へ那覇市民栄誉賞授与 一初優 建物全体を緑化、免震構造も備え、災害対策の拠点として

多くの関係者が参加して、その完成を祝いました。 広さになりました。また、今まで分散していた銘苅庁舎や教 舎跡地に新たに完成した市役所新庁舎の落成式が行わ 新庁舎は地上12階・地下2階建てで、旧庁舎の2・4倍の 12月22日(土)、仮庁舎移転から3年4カ月を経て、 旧 れ

行きます。

は樋口さん以来の米メジャー制覇を目標に掲げ、

焦らず

お願いします」と感謝と来季への抱負を語りました。

HN

AHA

マイペースで頑張りますので、沖縄からも応援よろしく

はじみていやーさい!

景観形 第6

風

格ある県都・なは、

D

成の推進に向け

7

なは く「風格ある 市民、事業者の皆さ 条例]を制定しまし んとの協働 誘導に取 物となるよう く、良好な屋外広告 この条例の を 創 出すべ 組 で美し 県都・ もと、

那覇市屋外広告物 ▼自然素材を活用した良好な看板

素の一つで、 や許可などの 例]を制定し 適で美しい暑 生かした美し し、これまで なものがあ: を目的として 中核市になると、さらに屋外広告物の設置基準 これまで 屋外広告物 屋上広告・壁面広告・立看板など様々 以上に充実 県内でいち早く「那覇市都市景観条 |観を「まもり・そだて・つくる」こと ますが、本市ではこの権限を活か は、まちの景観を形成する重要な要 権限を持つことになります。 市では、「亜熱帯庭園都市なは」 いまちづくりを推進してきました。 市民との協働による那覇の個性を した景観形成を図るため

中核市移行準備室

topics

賞し、

認められて彫刻作品で数々の賞を受 雲のもとで彫刻を学び、その実力が

像といえます。

ならではの発想で作られた立体堆錦ます。漆の特性を深く理解した真山

現在でも数点のブロンズ像が

行され

た。1946年から2年に渡って発

真山はイラストも多く手がけまし

いう米

軍人向け日刊紙の沖縄の歴史 た「デイリーオキナワン」 大学)では、

高村光雲門下の山田泰

田真山

沖縄を代表する芸術家の一人、山

(1885~1977)

れています。また、糸満板など多くの陶器が残さ 橋川永昌らが作陶した陶

山田真山が描
覇市歴史博物館企画展

「が描

11

た世

界」(2

2

ラストレーター、工芸家として様々 日本画だけにとどまらず彫刻家、

な分野で活躍した人物でした。 真山は東京美術学校(現東京芸術

発達した漆芸技術である堆

(ついきん)

で出来てい

の平和祈念像は沖縄で



製作しました。真山が図案を考え小 し米軍人向けお土産品の陶器を多数 した。 に帰郷してのち陶芸と漆芸を学び(真山は工芸にも興味を持ち、沖残されています。) 戦後、 壷屋の陶工たちと協同 の挿絵を提供しました。そこには戦 風俗を紹介するコーナーにたくさん

前の沖縄の風景が生き生きと描かれ

を紹介します。 本企画展では、 入館料 2 月 13 日 水 般 3 0 0 山田真· まで 円

として出版されま. れら様々な関連資料を展 絵画・彫刻作品とともに し、その足跡と作品世界 した。

『沖縄繪物語』という画集

開館時間10時~19時 木曜休館 **2869-5266**

その後これらのイラストは

那覇市立壺屋焼物博物館イベント情報

「加藤直樹陶展~呼ぶ声~」

那覇市立壺屋焼物博物館では、県外の陶芸作家を積極的に紹介するシリ 回目は、倉敷市在住の陶芸家、加藤直樹氏をご紹介します。加藤氏は、岡山大学教育学部を卒業後、2004 年岡山市に開窯。磁器によるオブジェを中心に制作発表を続けています。2006年よりピーマンをモチ

ع

にしたシリーズ作品を制作。本展「呼ぶ声」では、生命への賛歌をテ ーマに、植物・昆虫 そして人体を構成する骨をイメージしたインスタレーション作品を展示いたします。 ■ 2月2日(土)~17日(日)

※2日(土)は午後2時から加藤氏によるギャラリートークを実施(無料・申込不要) 場 3階 企画展示室 費 無料

城岳幼稚園の園児が作った面シ 城岳幼稚園の園児が作った面シーサーを展示いたします。 園児たちの個性あふれる作品をぜひご覧ください。(主催:城岳幼稚園)

■ 2月23日(土)~3月1日(金) ※最終日は午後4時まで 圆 3階 企画展示室 圓 無料 芸員と展示を見よう~常設展ギャラリート

加藤直樹作「骨の土」 ■ 2月17日(日) 午前10時から1時間程度

関常設展の観覧料が必要です(市内の小・中・高校生は無料)

申 不要。当日、博物館1階受付前に集合して下さい。 開館時間10時~18時(入館は17時半まで) 月曜休館 ※ただし、月曜が祝日の場合は開館 ☎862-3761 FX 862-3762

各的なお菓 伝いするお店です œ 国道8号線 107

製菓製パン原材料、業務用食材卸、 厨房機器、包装資材

〒900-0005 那覇市天久1-26-20 TEL/098-863-8053 営業時間。

月~土曜:10時~20時 日•祝日:10時~19時

-パン・洋菓子の技術指導致します~ 本社:〒901-2123 浦添市西洲2丁目6番地1 TEL. (098) 870-1117